

平成23年度熊本県堆肥共励会「肉牛の部」受賞者の概要

1 概要

出品者名	阿蘇市堆肥化センター
所在地	阿蘇市狩尾中山崎831-4
組織等の概要 (活動の経緯)	平成9年度地域農業基盤確立農業構造改善事業により高品質堆肥製造施設として建設 施設完成後、平成11年3月26日に取得し、阿蘇農業協同組合が堆肥製造を開始

2 堆肥の特徴（混合割合。重量比）

野草(カヤ)堆肥と汚泥堆肥の2種類の堆肥を生産している。

汚泥堆肥の原材料等

原材料 肥育牛糞尿：20%、乳牛糞尿：10%、豚糞尿：10%、汚泥：20%

副資材 野草：20%、剪定クズ：10%、戻し堆肥：10%

3 堆肥の生産及び流通について

1) 堆肥生産の施設・機械等

発酵槽 スクープ式発酵槽2層

堆積及び熟成場所 1, 500㎡

作業機械等 ホイルローダー1台、ダンプトラック1台

2) 汚泥堆肥化及び利用・流通のフロー

原料搬入(汚水処理施設：汚泥、肥育農家、養豚農家)

→原料と水分調整材(野草、剪定クズ、戻し堆肥)を混合

→発酵槽に投入攪拌機で切り返し(30日)

→堆積場所でホイルローダーによる切り返し(2か月半)

→熟成場所でホイルローダーによる切り返し(2～3か月)



4 堆肥生産の工夫や特徴

汚泥堆肥は、低価格で堆肥を供給するため、汚泥と肥育農家や養豚農家等の堆肥を混合し、水分調整材として野草や剪定クズで水分調整を行っている。

発酵処理は、野草堆肥と同様の処理を行っているが、価格は野草堆肥よりも2割程度安く、耕種農家等を主体に供給している。



5 今後の目指す方向と課題

堆肥をストックする場所が不足し、高品質の堆肥が不足することがあったため、施設園芸農家等の要望に応えるべく、平成22年度にストックヤードの建設を行った。

この結果、高品質な堆肥を適期に阿蘇一円に堆肥を供給することが可能となった。

